

**医療介護総合確保促進法に基づく  
平成26年度千葉県計画に関する  
事後評価  
(個票部分抜粋)**

**令和5年11月  
千葉県**

事業の区分	1-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 5】 医療機関機能強化・機能分化促進事業	【総事業費】 188,303 千円
事業の対象となる区域	千葉・東葛南部・東葛北部・印旛・香取海匝・山武長生夷隅・安房・君津・市原	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	平成26年4月1日～令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域医療構想で示した将来の医療需要と必要病床数を踏まえた病床の整備、救急医療や周産期医療の体制整備など、地域に必要な病床機能等の分化及び連携等を進める必要がある。	
	アウトカム指標： 地域包括ケア病棟の病床数（人口10万対） 37.8床（令和2年度）→39.9床以上（令和4年度）	
事業の内容（当初計画）	不足する病床機能への転換など医療機関が地域医療構想との整合性を図り、病床の機能転換を行う施設設備に対する助成	
アウトプット指標（当初の目標値）	整備を行う医療機関数：1施設	
アウトプット指標（達成値）	補助実施施設数：1施設	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標 地域包括ケア病棟の病床数（人口10万対） 39.3床（令和5年度）	
	<p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>地域の中核医療機関や、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟を整備する病院に整備費補助を行うことで、病床の機能分化が図られ、地域医療構想の達成に向け、効果的と考える。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>地域の中核医療機関や、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケ</p>	

	ア病棟を整備する病院に整備費補助を行うことで、病床の機能分化が図られた。
その他	H26 基金執行額：1,194 千円

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.6】 千葉県地域医療支援センター事業（医師キャリアアップ・就職支援センター事業）	【総事業費】 641,291千円
事業の対象となる区域	千葉・東葛南部・東葛北部・印旛・香取海匝・山武長生夷隅・安房・君津・市原	
事業の実施主体	千葉県、NPO法人千葉医師研修支援ネットワーク	
事業の期間	平成26年4月1日～令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	医師偏在指標が全国で多い順に38番目であることから、医師少数都道府県を脱するため、県内外の医師に向けた情報発信、キャリア相談、医療技術研修、専門研修の充実、医学生への修学資金の貸付及び修学資金生のキャリア形成支援等を通じ、医師の確保と定着を促進する。	
	アウトカム指標： 臨床研修医マッチ率 89.8%（令和3年度）→90%以上（令和4年度） 県内専攻医採用数 388人（令和3年度研修開始者）→394人（令和4年度研修開始者） 医師数 12,935人（令和2年）→13,079人（令和4年）	
事業の内容（当初計画）	標記センターの運営を通じ、医師修学資金貸付事業等により若手医師等の確保と定着を促進し、医師の偏在対策を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	医師派遣・あっせん数 48人 地域卒卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合 87.4% 臨床研修病院合同説明会参加者数 1,000人以上 医療技術研修受講者数 300人以上 医学生 324名に修学資金を貸付（令和4年度）	
アウトプット指標（達成値）	医師派遣・あっせん数 48人 地域卒卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合 100%	

	<p>臨床研修病院合同説明会参加者数 380人</p> <p>医療技術研修受講者数 290人</p> <p>医学生 317 名に修学資金を貸付（令和 4 年度）</p> <p>【未達成の原因等】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、引続き体験型セミナーの開催が難しい状況にあった。今後も積極的な周知を講じる。</p>
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <p>臨床研修マッチ率 93.8%（令和 4 年度）</p> <p>専攻医採用数 395 人（令和 4 年度）</p> <p>医師数 12,935 人（令和 2 年）※令和 4 年度の医師数は未判明。</p> <p><b>（1）事業の有効性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内での初期研修医及び後期研修医の確保をすることで医療不足の解消を図る</li> <li>・県内で就業する医師を確保することで、安定的な医療提供体制の整備に寄与すると考える。</li> </ul> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定期間、知事の指定する県内医療機関に勤務することで、修学資金貸付金の返還を免除する制度であり、県内で就業する医師の確保を図る。</li> </ul>
その他	H26 基金執行額：5,977 千円